

令和元年度 大田区立大森東小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

開校38年 児童数151名、6学級、サポートルーム拠点校
 教員数15名(巡回指導教員3名)、スクールカウンセラー1名、特別支援教育専門員1名、事務2名、栄養士1名、用務主事2名、時間講師2名、学習指導講師2名、特別支援員3名、副校長アシスタント1名、読書学習司書1名
 校内研究 研究主題「対話的に学習に取り組む児童の育成」 副主題「各教科等の言語活動の充実を通して」

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標
プ 未 来 生 社 1 き 会 を 子 創 造 的 育 に 成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にすなやかに対応する子どもの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。 <u>論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おおたのものづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。</u> 学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。 <u>他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。</u> 体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	【保護者アンケート】 「学校は、これからの社会の変化にすなやかに対応する子供を育てる工夫をしている(外国語教育、ICT活用、体力向上)」と答えた割合 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 60%以上
プ 学 ラ カ ン の 2 向 上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。 算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。 学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。 授業改善推進プランを、授業に生かす。 大森東小「学習のきまり」について、児童に徹底するために繰り返し指導する。	【児童アンケート】 「学習(授業)が楽しい」と答えた割合 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 60%以上
プ 豊 カ ン な 3 心 の 育 成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。 道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。 学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。 学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。 問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	【児童アンケート】 「自分にはよいところがある」と答えた割合 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 60%以上
プ 体 ラ カ ン 健 の 4 康 向 上 増 と 進	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。 給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。 体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	【児童アンケート】 「運動をもっとしたい」と答えた割合 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 60%以上
プ 魅 ラ カ ン 教 育 環 境 づ く り	児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくりまします。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。 授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。 各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。 校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	【保護者アンケート】 「子供たちにとって分かりやすい授業をしていた」と答えた割合 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 60%以上
プ 学 一 校 体 と 家 庭 づ く り と 地 域 も が 進 め る 教 育	学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。 地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けよう努める。 学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	【児童アンケート】 「地域の行事に参加している」と答えた割合 4: 90%以上 3: 80%以上 2: 70%以上 1: 60%以上

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。